

## 《実習② 授業アーカイブ実習・作業手順》

### ＜①講義の録画＞

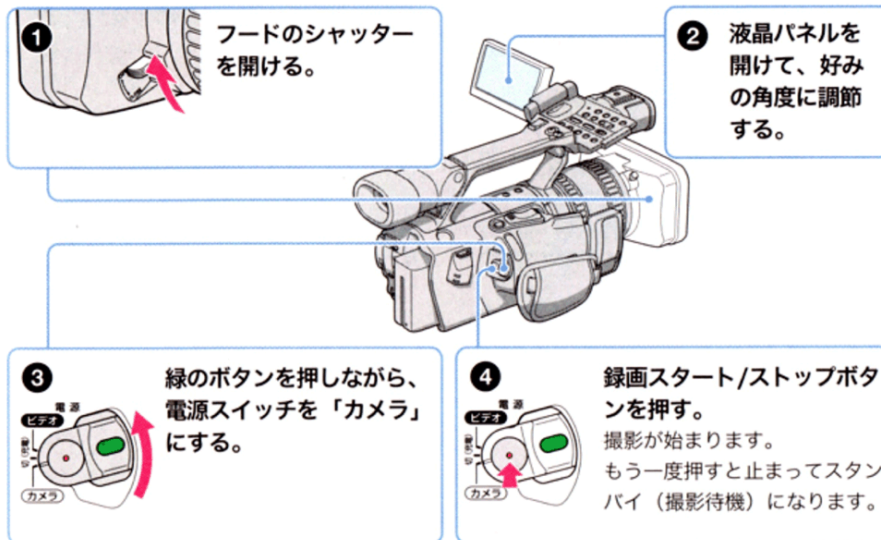
受講者の中から各班1名の方に、事前課題で準備していただいた素材を使用して発表をおこなっていただき、その様子を撮影します。

### 操作

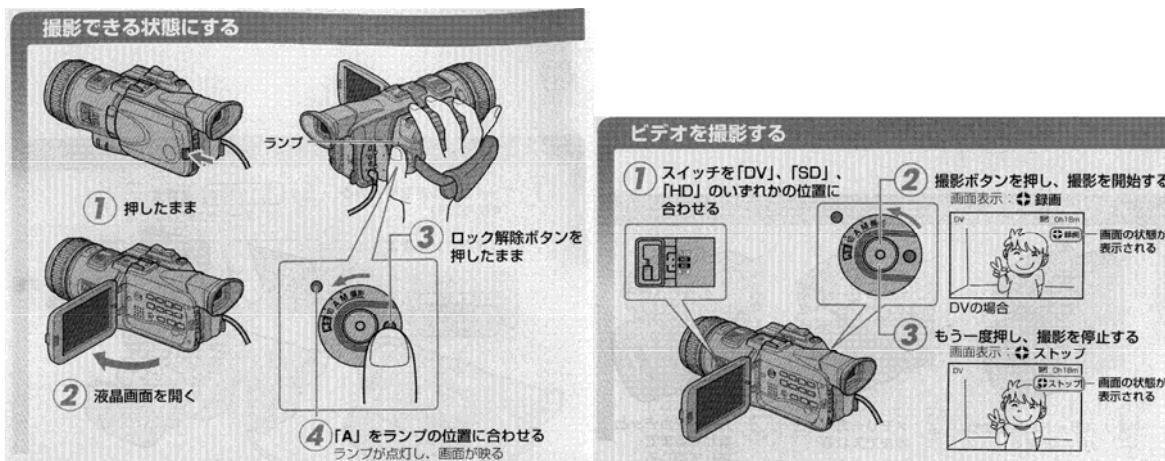
#### ＜ソニー製のカメラ（HDR-FX1）を使用する場合＞

##### 液晶画面を見ながら撮影する。

お買い上げ時には日付・時刻の設定がされていません。⇒設定のしかたは17ページ  
お買い上げ時にはHDV規格で撮影するように設定されています。⇒DV規格で撮影するには58ページ

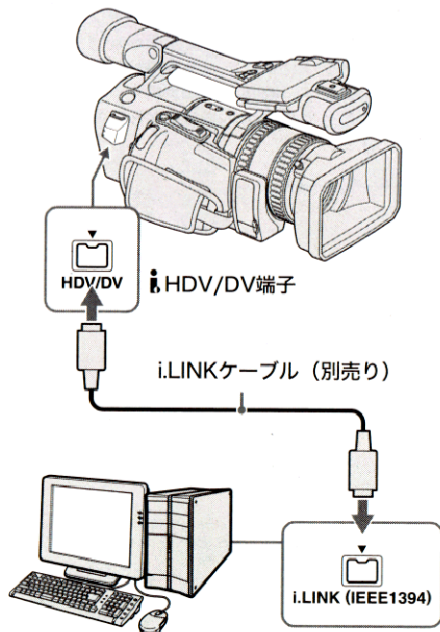


#### ＜ビクター製のカメラ（JY-HD10）を使用する場合＞



## <②PCとビデオカメラの準備>

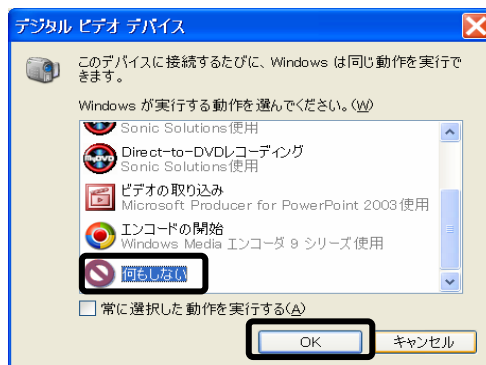
- ・今回の実習では、「作業フォルダ」としてCドライブ直下の Test1、Test2、Test3 のいずれかのフォルダをお使いいただきます。時間によってフォルダを分けますので、どれを使用するか実習中にご説明します。以下の文中ではこのフォルダを「作業フォルダ」と表記します。
- ・発表者の方のパワーポイントのファイルはあらかじめこのフォルダに置いてあります。



### i.LINKケーブル接続

- ・i.Link ケーブルは必ず、先にパソコンにつないでから、カメラにつないでください。カメラを先にすると静電気の発生でカメラが故障する場合があります。

- ・接続後、次のようなダイアログが出たら<何もしない>を選択して、<OK>ボタンをクリックしてください。



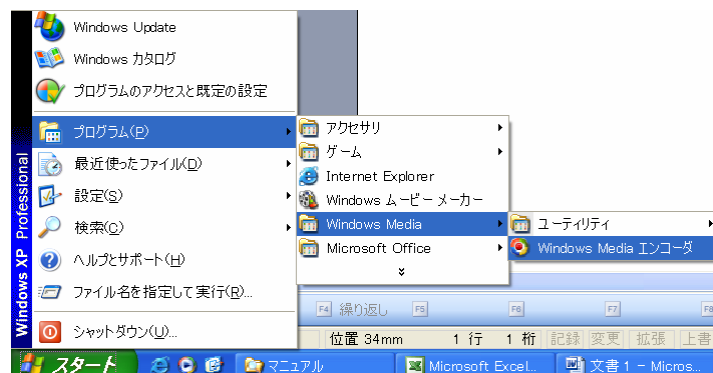
### <③DV テープからのエンコード>

ここでは Victor 社の DV カメラを例にします。

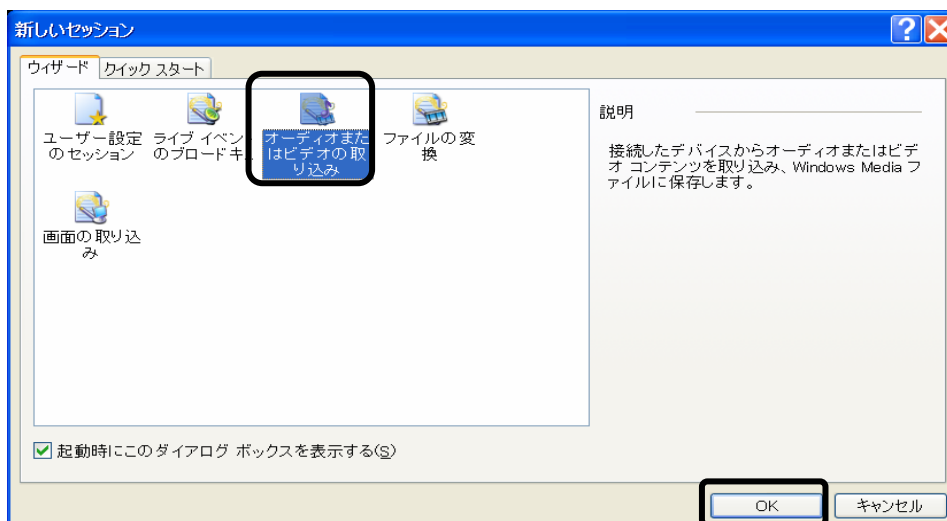
「マイコンピュータ」の「スキャナとカメラ」に「JVC DV カムコーダ」が表示されているか確認してください。



**操作** 「スキャナとカメラ」の表示を確認したら[スタート]→[プログラム]→[Windows Media]→[Windows Media エンコーダ]を選択して Windows Media エンコーダを立ち上げてください。

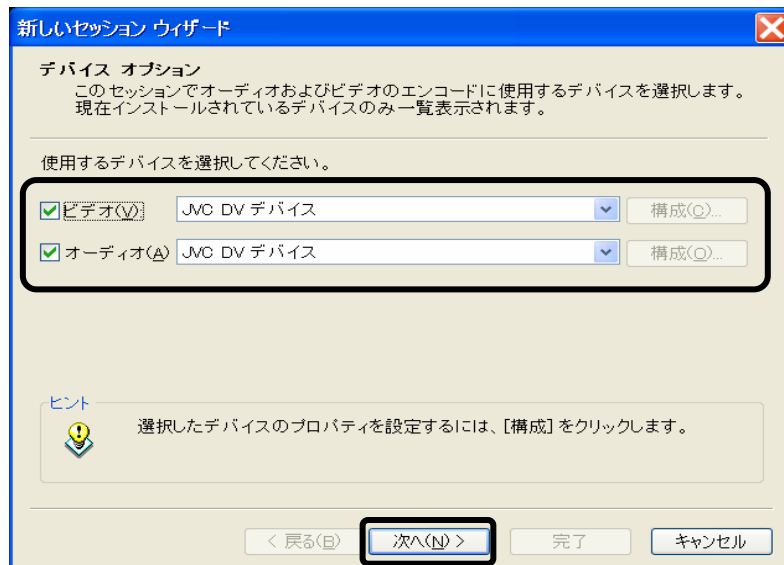


**操作** 図のような「新しいセッション」のウィザードが表示されるのでそこでは<オーディオまたはビデオの取り込み>を選択し、<OK>ボタンをクリックします。

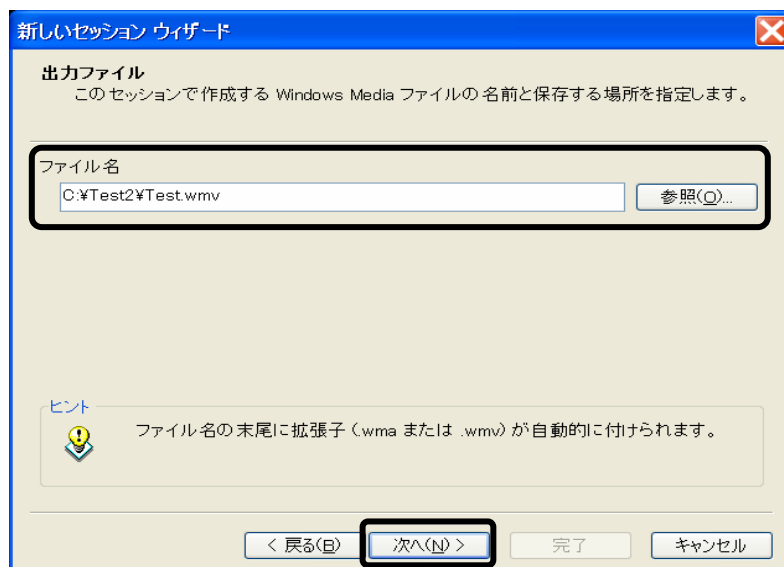


**操作**

「デバイスオプション」では「ビデオ」「オーディオ」共に「JVC DV デバイス」を選択してください。  
選択したら<次へ>ボタンをクリックします。

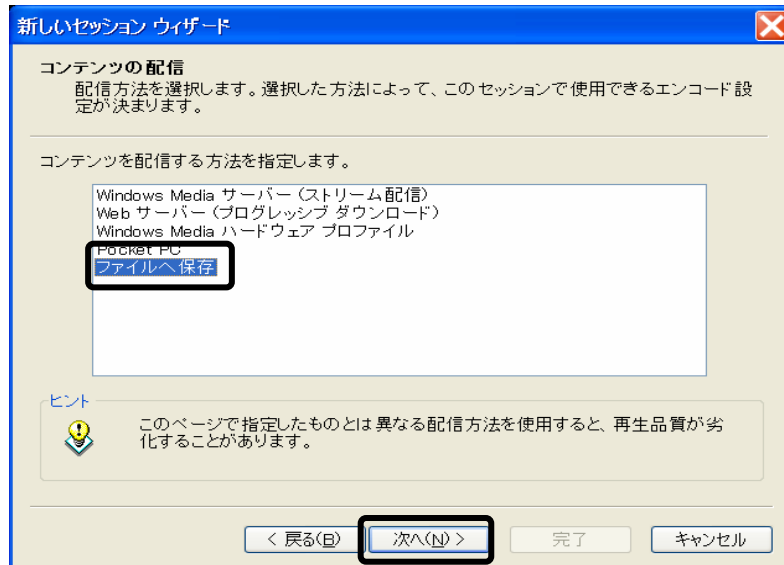
**操作**

「出力ファイル」の指定をします。はじめのページでご説明した「作業フォルダ」に保存します。  
パスとファイル名を直接入力するか、右の<参照>ボタンからファイル指定ダイアログを表示して保存場所とファイル名 (Test.wmv) を入力してください。  
ファイル名の指定が終わりましたら、<次へ>ボタンをクリックしてください。

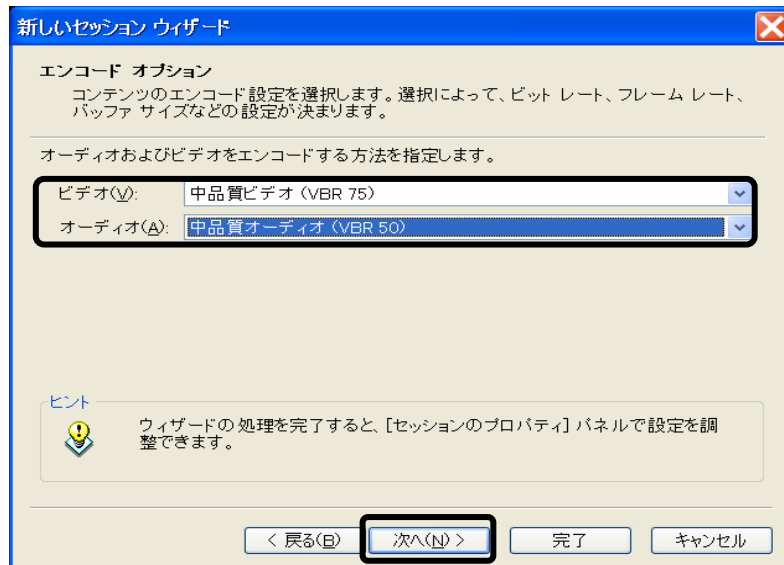


**操作**

「コンテンツの配信」を設定します。コンテンツの配信方法は「ファイルへ保存」を選択し、<次へ> ボタンをクリックしてください。

**操作**

「エンコードオプション」を設定します。  
「中品質ビデオ」と「中品質オーディオ」を選択して、<次へ>ボタンをクリックしてください。



## 操作

「表示情報」で「題名」「作成者」「著作権」を入力してください。終わりましたら<次へ>ボタンをクリックしてください。

新しいセッション ウィザード

表示情報  
コンテンツに関する情報を指定します(省略可能)。この情報はエンコードされたコンテンツの再生中に表示されます。

題名(I): 電子図書館学講座  
作成者(U): 附属図書館  
著作権(C): 奈良先端科学技術大学院大学

規制(R):  
説明(D):

ヒント  
この情報を表示するには、Windows Media Player でキャプションを有効にする必要があります。

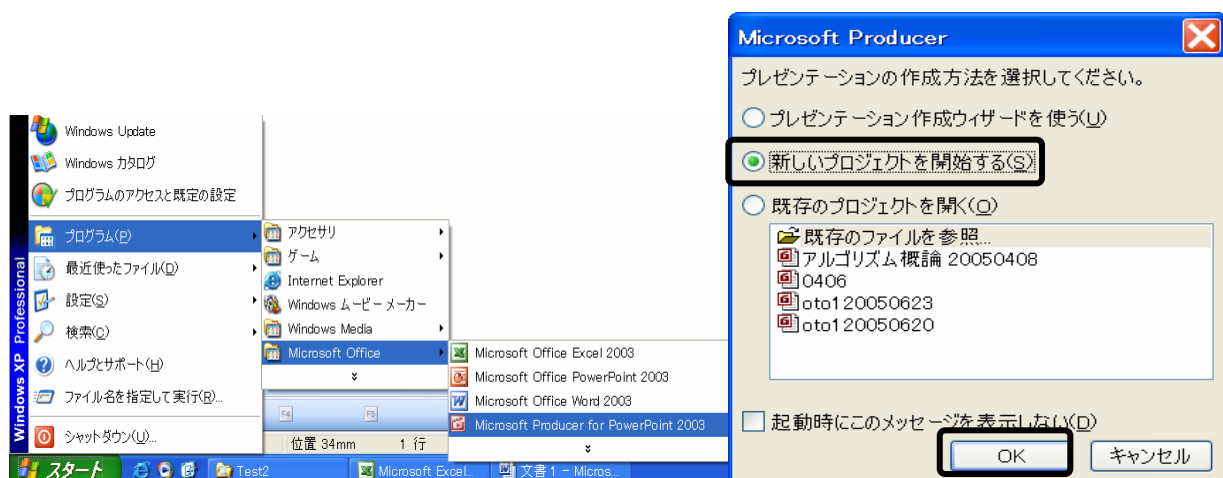
< 戻る(B) 次へ(N) > 完了 キャンセル

ここまでの設定が終わったら Windows Media エンコーダの「エンコードの開始」ボタンを押して、エンコーディングを開始させてください。ビデオデッキのタイマーが授業時間分だけ過ぎたところで「停止」ボタンを押してください。ここで「バッファの処理中です」という内容のダイアログがでた場合はそのダイアログが消えるまでは Windows Media エンコーダを絶対に終了しないでください。

なお、終了する時に「セッションを保存しますか?」というダイアログが出現したら、特に保存する必要はありませんので「いいえ」をクリックしてください。

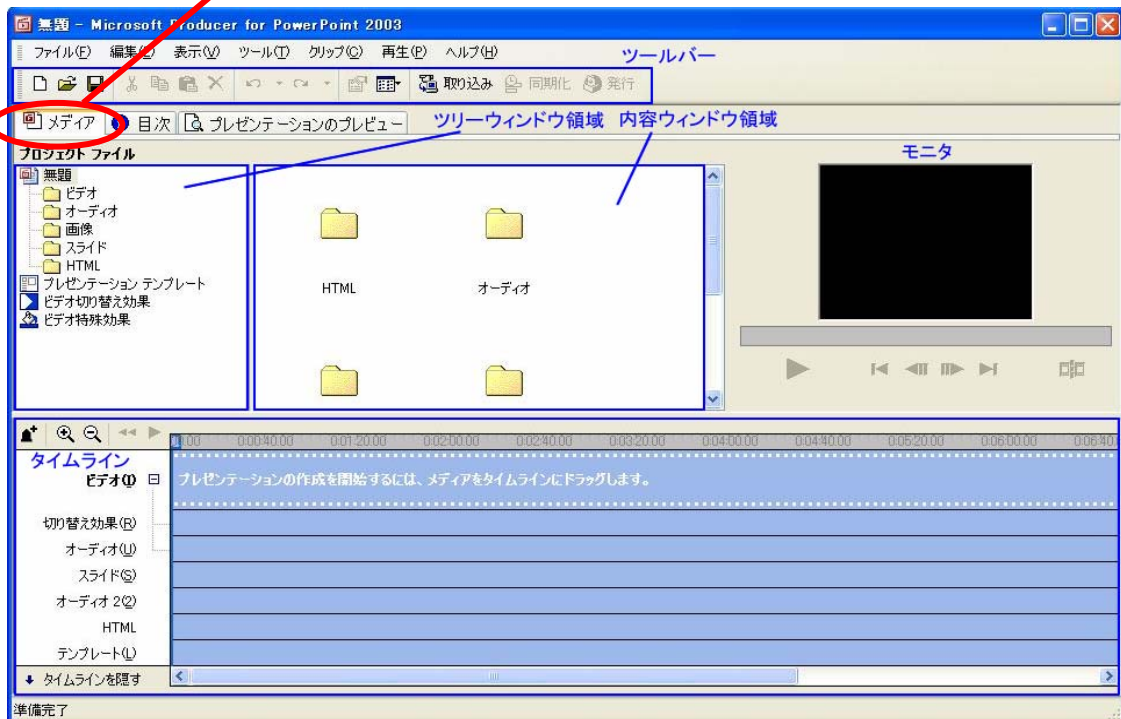
## <④Producer による講義ビデオと講義資料の同期>

[スタートメニュー]→[プログラム] →[Microsoft Office] →[Microsoft Office Producer for PowerPoint2003]で Producer 2003 を起動します。起動時にダイアログが表示されるので「新しいプロジェクトを開始する。(S)」を選択し<OK>ボタンをクリックします。



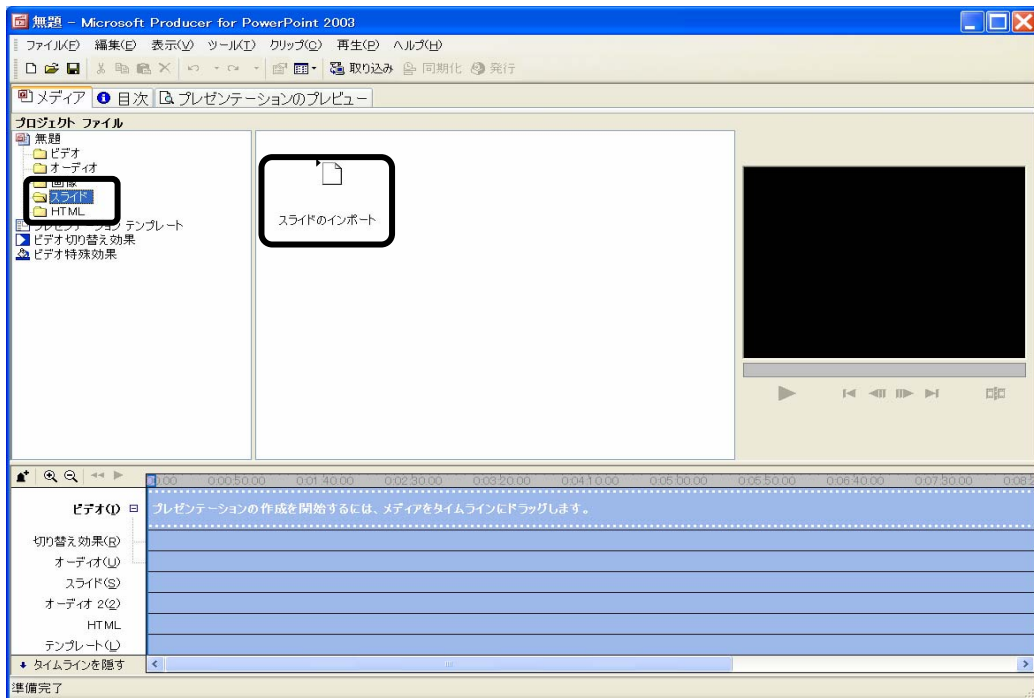
・起動後の画面、および各部の名称は次のとおりです。

## メディアタブ



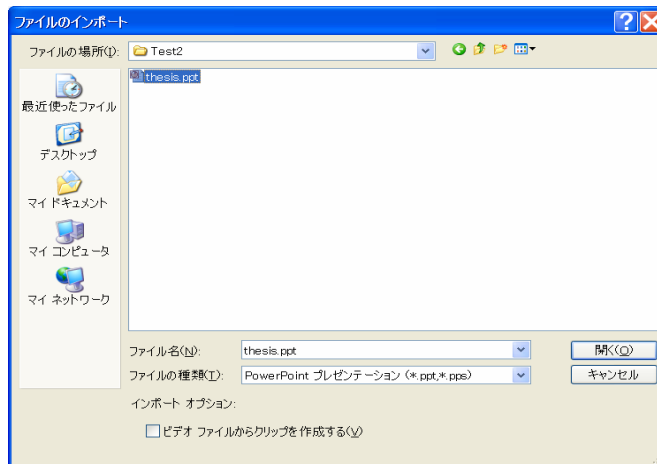
## 操作

「ツリーウィンドウ領域」内の「スライド」をクリックして、「内容ウィンドウ領域」に表示された「スライドのインポート」をダブルクリックします。



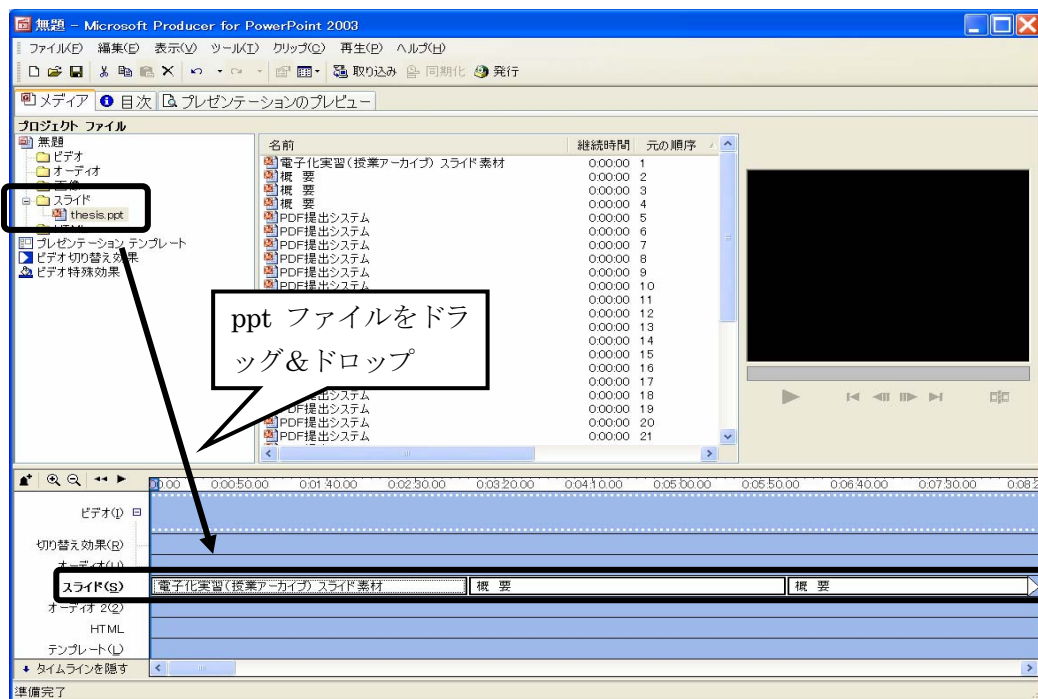
**操作**

「ファイルのインポート」ダイアログで、「作業フォルダ」に置かれたパワーポイントを選択し「開く」ボタンをクリックします。(パワーポイントファイル名は半角英数字を使用すること)



**操作**

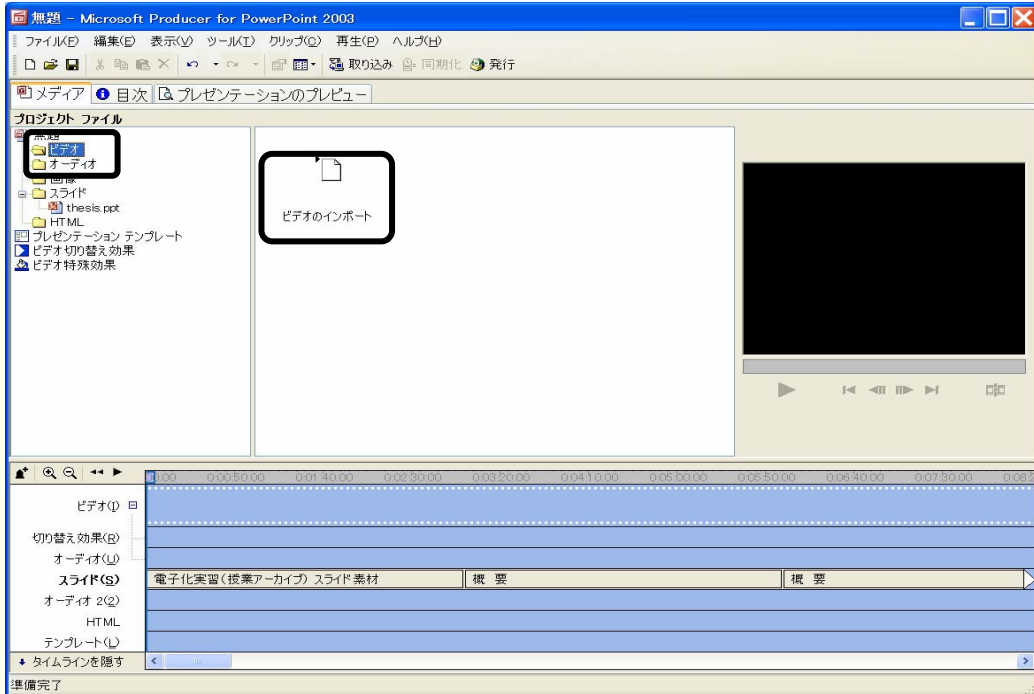
「ツリーウィンドウ領域」の「スライド」の下にあるパワーポイントファイルを「タイムライン」の「スライド」にドラッグ&ドロップします。





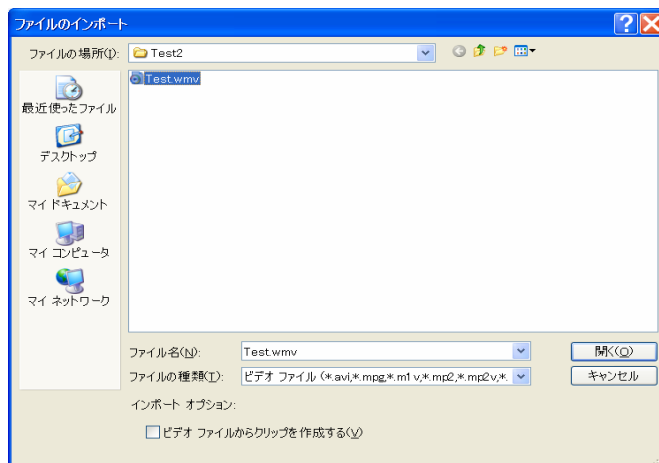
**操作**

「ツリーウィンドウ領域」内の「ビデオ」をクリックして、「内容ウィンドウ領域」に表示された「ビデオのインポート」をダブルクリックします。



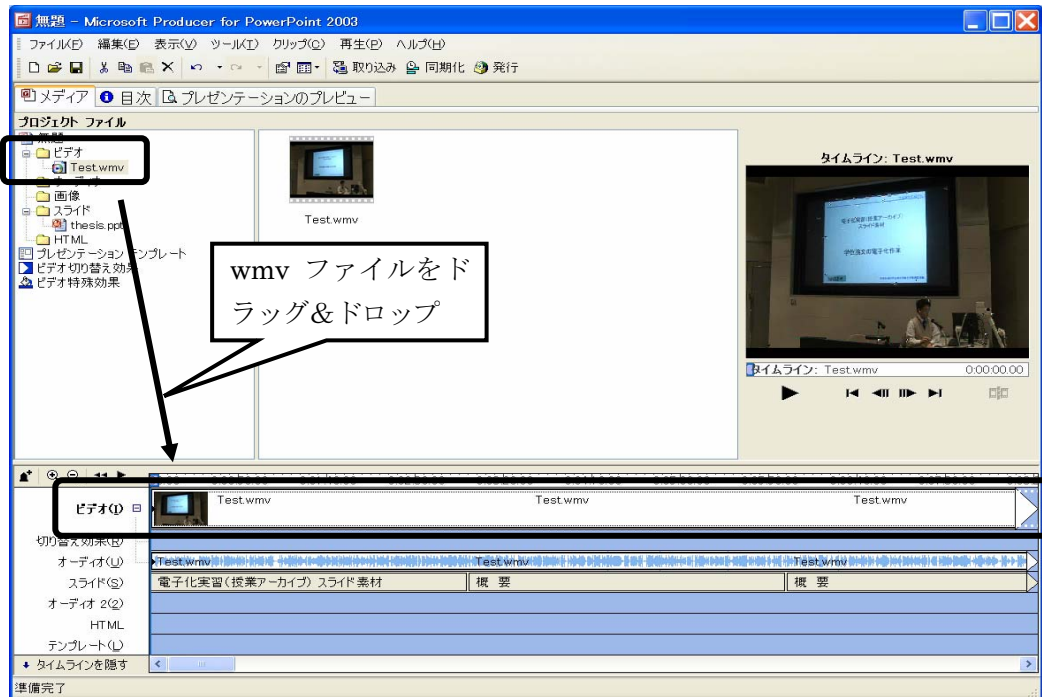
**操作**

「ファイルのインポート」ダイアログで、さきほど DV テープからのエンコーディングで作成した wmv ファイルを (Test..wmv) 選択し <開く> ボタンをクリックします。



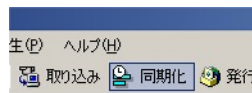
**操作**

「ツリーウィンドウ領域」の「ビデオ」の下にある wmv ファイルを「タイムライン」の「ビデオ」にドラッグ & ドロップします。



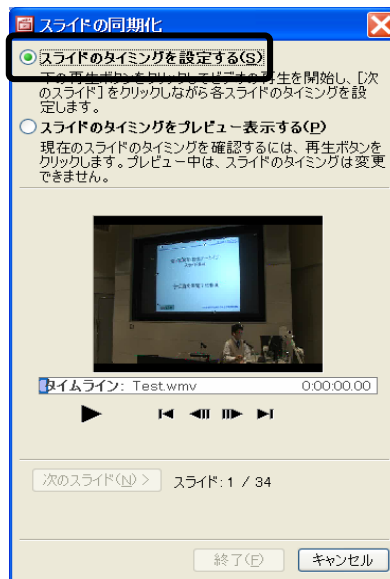
**操作**

これ以降、画像(wmv ファイル)とパワーポイントの切り替えタイミングを合わせます。ツールバーの<同期化>をクリックしてください。



**操作**

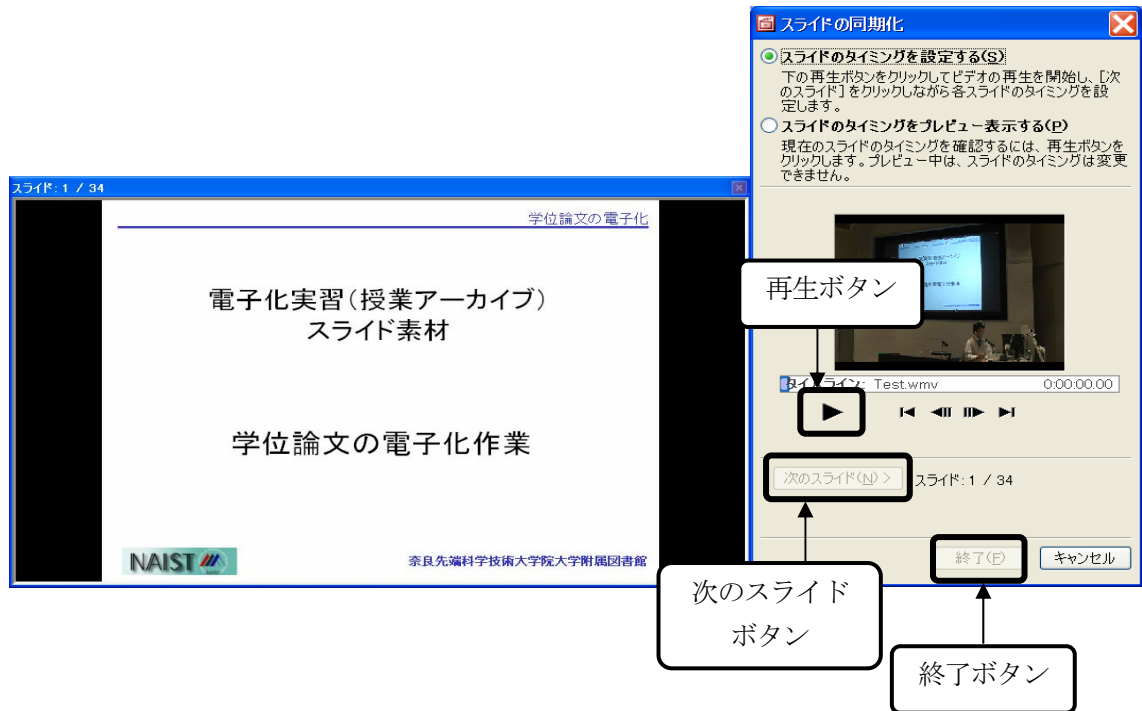
「スライドの同期化」ウィンドウで「スライドのタイミングを設定する」にチェックを入れます。



## 操作

〈再生〉ボタンをクリックすると、ビデオ画像が再生され、同時にスライドが表示されます。画像を見ながら、スライドの切り替えタイミングと合わせて〈次のスライド〉ボタンをクリックしてください。これを画像が終わるまで続けます(事前課題の素材を用いた発表は約5分を想定しています)。

画像が講義の最後まで再生されましたら、スライドの同期化ダイアログの〈終了〉ボタンをクリックします。



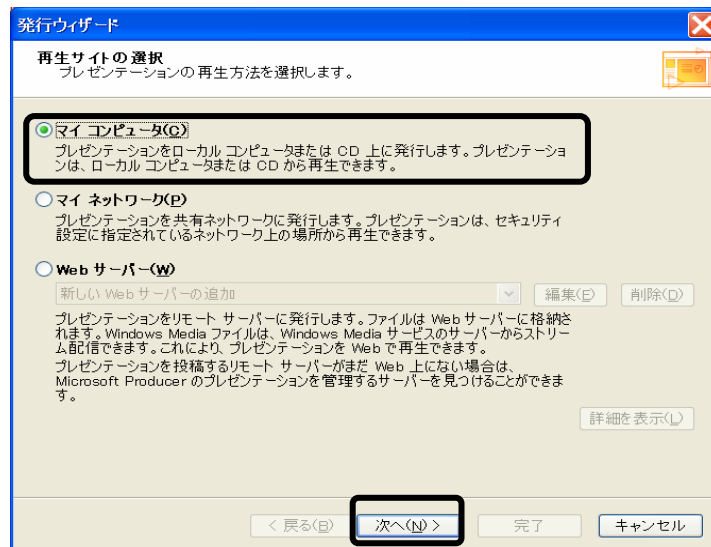
### <⑤. プレゼンテーションの発行>

・ここまでの作業が完了したら「ファイル」、「プレゼンテーションの発行」を選択し講義アーカイブを web ページから見られる形にします。(引き続き「Microsoft Office Producer for PowerPoint2003」を使用します。)

#### 操作

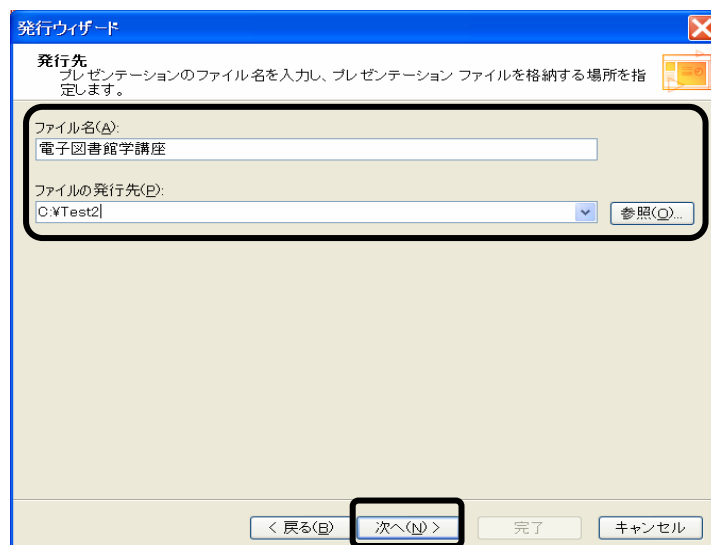
メニューバーの[ファイル]→[プレゼンテーションの発行]をクリックしますと、次の発行ウィザード画面が表示されます。

「再生サイトの選択」で「マイコンピュータ」を選択し<次へ>ボタンをクリックしてください。



#### 操作

「ファイル名」及び「ファイルの発行先」を入力します。ファイルの発行先は「作業フォルダ」を選択してください。入力が終わりましたら<次へ>ボタンをクリックします。



**操作**

プレゼンテーションの情報を入力します。入力が終わりましたら<次へ>ボタンをクリックします。

新規作成

**プレゼンテーションの情報**  
作成するプレゼンテーションに関する情報を入力します。この情報は、プレゼンテーションの読み込み中に導入ページに表示されます。

タイトル(D):  
電子図書館学講座

発表者 (オプション)(P):  
附属図書館

導入ページ画像 (オプション)(I):  
参照(O)...

説明 (オプション)(D):

< 戻る(B)   **次へ(N) >**   完了   キャンセル

**操作**

「発行の設定」では「視聴ユーザ毎に発行の設定をする」を選択し、<次へ>ボタンをクリックします。

発行ウィザード

**発行の設定**  
プレゼンテーションの発行に使う設定を選択します。選択した設定によって、プレゼンテーション全体の品質とサイズが決まります。

提案された設定を使う (推奨)(U)  
300 Kbps での企業内 LAN 接続 - Windows Media 8 コーデックを使う  
デジタルメディア ファイルは再度エンコードされます。

**視聴ユーザごとに発行の設定を選択する(O)**

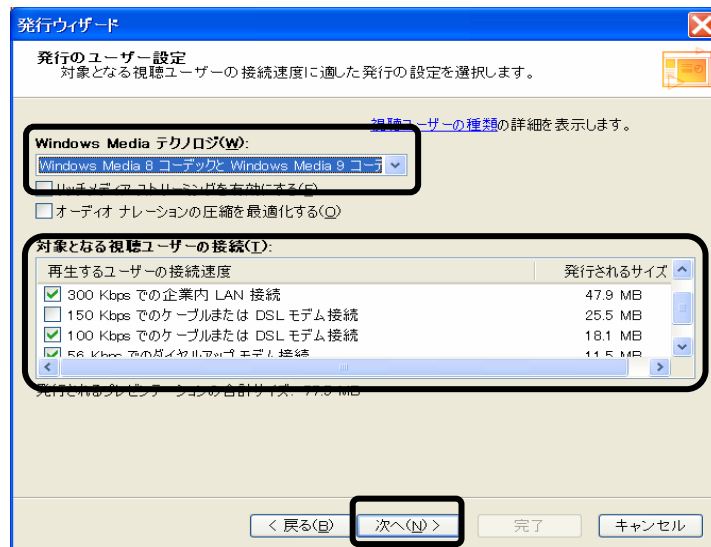
< 戻る(B)   **次へ(N) >**   完了   キャンセル

**操作**

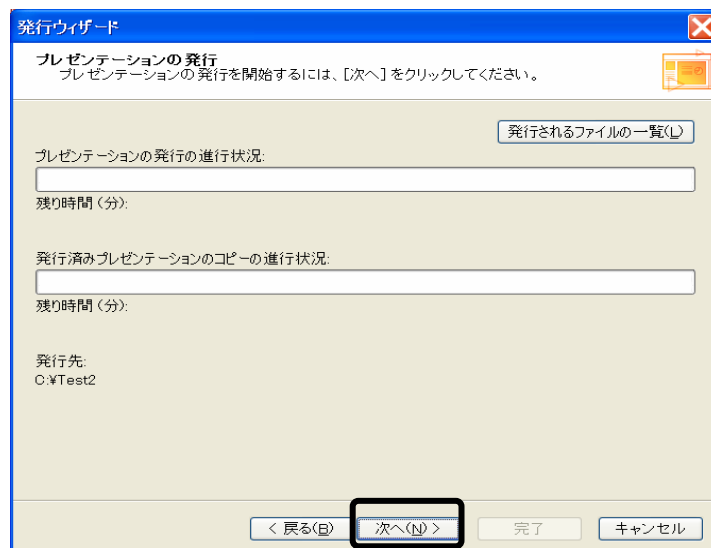
「発行のユーザ設定」では以下のように選択をします。

- ・Windows Media テクノロジ
  - Windows Media 8 コーデックと Windows Media 9 コーデックの両方
- ・対象となる視聴ユーザの接続
  - 300 Kbps での企業内 LAN 接続
  - 100 Kbps でのケーブルまたは DSL モデム接続
  - 56 Kbps でのダイヤルアップモデム接続

選択が終わりましたら、<次へ> ボタンをクリックします。

**操作**

「プレゼンテーションの発行」で「次へ」をクリックすると、発行作業が始まります。

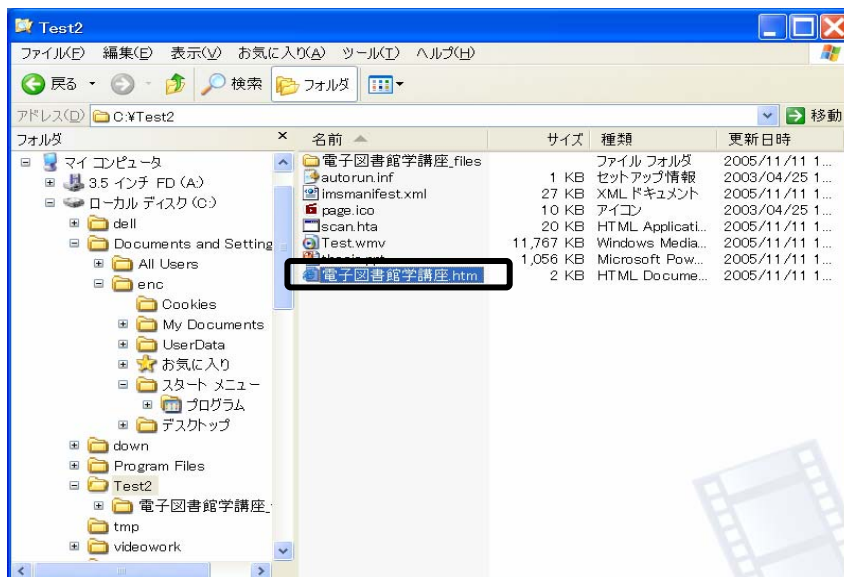
**操作**

プレゼンテーションの発行が完了しましたら、「Microsoft Office Producer for PowerPoint2003」を終了します。終了するときには保存確認メッセージが表示されますが、<いいえ>をクリックしてください。

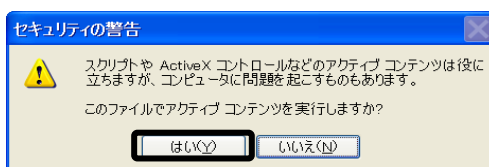
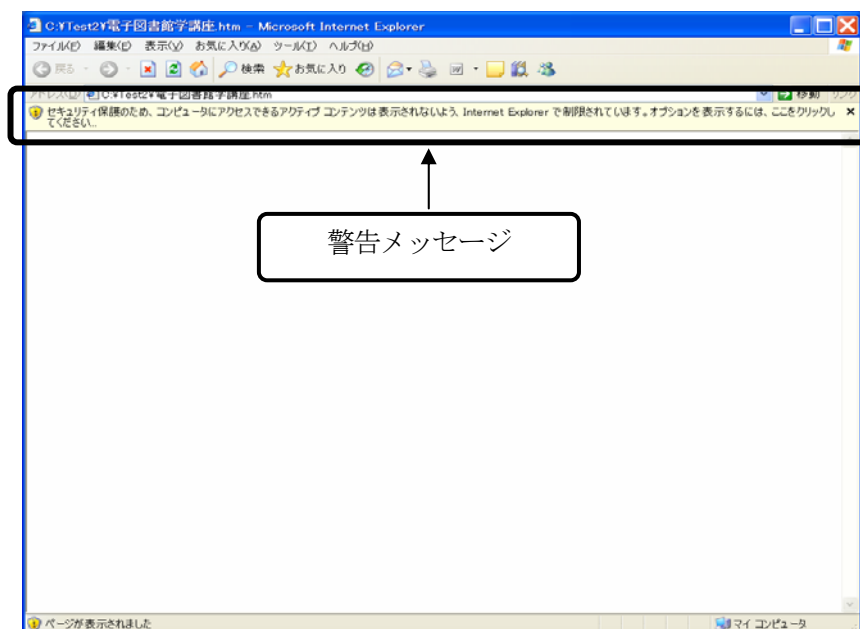
## <⑥. ブラウザで確認>

### 操作

「Windows エクスプローラ」や「マイコンピュータ」を使用して、プレゼンテーションの発行でファイルの発行先に指定したフォルダを開きます。拡張子が htm のファイルが作成されていますので、これをダブルクリックします。

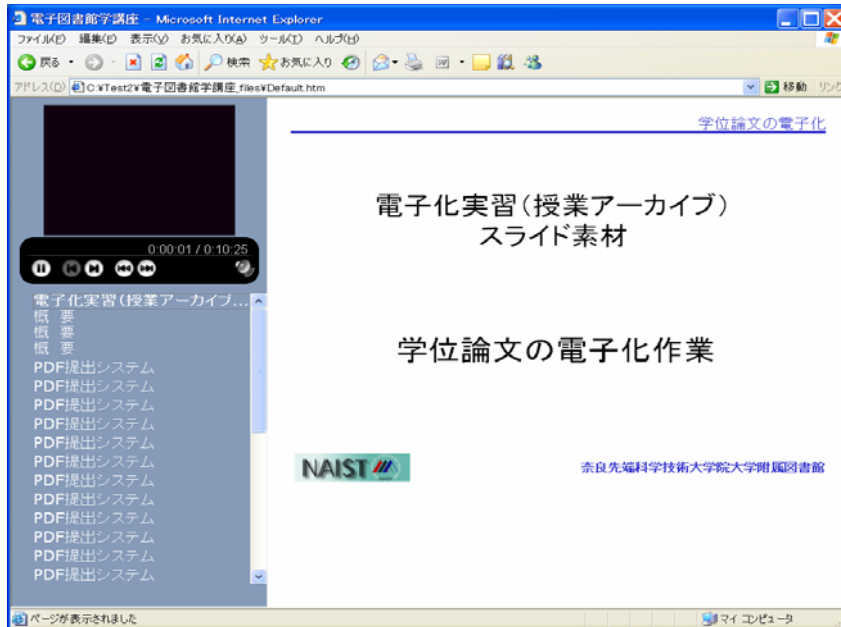


※ PCの環境によっては、次のような警告が出る場合があります。その場合は、警告メッセージ部分をクリックし、表示されたプルダウンメニューの<ブロックされているコンテンツを許可>をクリックします。一度メッセージボックスが出ますので、<はい>をクリックします。



操作

＜再生＞をクリックすると、ビデオとスライドの再生が始まります。



(再生中)